ライフ・イノベーション推進に向けた施策

資料2－1－1
科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
（第41回）H24.7.11

【ライフサイエンスに関する施策】

2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017

再生医療の実現化プロジェクト（第Ⅱ期）
iPS細胞等幹細胞を用いた研究開発について、基礎研究の成果をもとに、関係省との連携により前臨床・臨床研究までの一貫した支援を実施し、早期の再生医療の実現化を図る。

再生医療の実現化プロジェクト（第Ⅲ期）

革新的細胞解析研究プログラム ※2011年までは革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブとして実施。
次世代シーケンサーを駆使し、細胞・生命プログラムを解明する。

ターゲットタンパク研究プログラム
創薬など医学・薬学への貢献が期待できる有用なタンパク質の解析とそのための「技術開発」を実施する。
※2009年から2011年までは革新的タンパク質・細胞解析研究イニシアティブとして実施。

創薬等支援技術基盤プラットフォーム
うち、「技術開発」により整備された技術基盤の更なる高度化と、積極的な外部開放（共用）等を行い、革新的創薬プロセスを実現する。

ナショナルバイオリソースプロジェクト
実験動物等の研究材料について収集・保存・提供を行う拠点を整備するとともに、国内外の大学及び研究機関等に提供することにより、質の高いライフサイエンスの研究の推進に貢献する。

次世代がん研究戦略推進プロジェクト
がんについての革新的な基礎研究の成果を戦略的に育成し、臨床応用を目指した研究を加速することで、次世代がん医療の実現を目指す。

橋渡し研究支援推進プログラム
基礎研究の成果を臨床へとつなげるための橋渡し研究支援拠点の機能を強化するとともに、これら拠点を中核としたネットワークを形成し、成果の実用化に向けた取組の加速を図る。

橋渡し研究加速ネットワークプログラム

個人の遺伝情報に応じた医療の実現プロジェクト（第2期）
これまでに構築した世界最大規模のバイオバンクを活用して、疾患関連遺伝子研究や薬理遺伝学研究を実行し、個人に最適な医療の実現を目指す。

個人の遺伝情報に応じた医療の実現プロジェクト（第3期）

新興・再興感染症研究拠点形成プログラム
アジア・アフリカの8カ国12カ所に整備した海外研究拠点を活用し、感染症対策に資する基礎的知見の集積、人材育成等を推進する。

感染症研究国際ネットワーク推進プログラム

分子イメージング研究プログラム
分子イメージング技術を医療へ応用すべく、創薬候補物質探索拠点・PET疾患診断研究拠点と、大学・病院・企業等の連携により構成される研究体制を構築し、技術の実証に向けた共同研究開発を実施。

分子イメージング研究戦略推進プログラム

粒子線がん治療に係る人材育成プログラム
粒子線治療固有の知識・技術を有した専門人材を育成するため、既存粒子線治療施設を活用したOJTによる研修を実施し、中核的な役割を果たす人材を育成。

次世代生命体統合シミュレーションソフトウェアの研究開発
ライフサイエンス分野における計算科学技術を駆使した新技術の適用などに道筋を付け、今後の我が国におけるライフサイエンス分野の進展に貢献することを目指す。

東北メディカル・メガバンク計画
被災地域を中心にコホート調査等を実施し、意欲の高い医療関係人材を被災地に派遣することで地域医療の復興に貢献するとともに、病気の正確な診断や薬の副作用の低減などの次世代医療を、地域住民に対して実現する。

▽は事前評価、▼は中間評価、▼は事後評価、▽はその他の評価の実施時期